

新楽団 三島シニアアンサンブル誕生！！

昨年の4月上旬、私の所属する団の斉藤由恵さんから三島の佐藤陽子さんという方から「新しく三島に中高年の合奏団を設立し、たく当団を見学したい」との話があり、対応

を依頼された。4月23日に佐藤さんがVnを持参して見え、一緒に演奏し、9月頃に三島に新楽団を立ち上げる約束をした。佐藤さんは大学オケなどクラシックの世界を



若い頃からバイオリンが好きで、市民オーケストラを渡り歩いてきた私でしたが寄る年波には勝てず、もっと気軽なやさしい曲でオーケストラをコンパクトに編成した様な楽団はないものかと長年探してきました。

こんなに情報が溢れている時代なのに、地方では一人で弾いているしかないのか？と自問自答している時に出会った団体でした。

管の応募が多く弦も集まり、13人からの新しい門出となった事を嬉しく思います。

(仮)三島シニアアンサンブル

代表 佐藤 陽子

わたり歩いたが、もっと大衆に密着した気軽な音楽の合奏を地元で開催したいと発足を決意されたようである。その後6月に練習会場をさがして私と宮崎副理事長が訪問し、2ヶ所を候補にした。練習会場が決まり団員募集のチラシを千枚作成し、佐藤さんが市内の施設に配布し、地元の静岡新聞や市報にも広報した。9日の予備練習には10名足らずの見学者が参加し、鴨井次郎先生にもご足労願った。10月23日の発足日には鴨井先生のご紹介による茅原初子先生(富士市在住で海外交流豊富)を迎えて13名の団員で発足した。皆、ほかで経験のある方が多いようで、最初からハーモニーがまとまっていた。代表には佐藤さんを選出、12月には3名が入団予定で、クリスマスには地元のデイサービスからの出前演奏会の依頼が入り、急遽、新しい楽譜を取り寄せ、鋭意練習中である。静岡県には浜松市という全国一の楽器生産地があり、三島のSEは今後、県内の大きな波紋となりそうである。一周年記念や定期演奏会など、これからが楽しみである、末永いご繁栄を祈念している。

(全シ連 岡村 斉能)

